

(社)日本機械学会関西支部 ステップアップ・セミナー2008
わが国企業・技術者・学生のための戦略的技術経営Ⅲ
－事業を取り巻くリスクとリスクマネジメント－

協 賛 日本ガスタービン学会、可視化情報学会、計測自動制御学会関西支部、精密工学会関西支部、システム制御情報学会、日本金属学会関西支部、日本計算工学会、日本材料学会関西支部、日本流体力学会、日本塑性加工学会関西支部、日本マリンエンジニアリング学会、化学工学会関西支部、日本化学会、日本伝熱学会、日本航空宇宙学会関西支部、溶接学会関西支部、日本船舶海洋工学会関西支部、日本冷凍空調学会、日本燃焼学会、日本鉄鋼協会関西支部、自動車技術会関西支部、ターボ機械協会、日本バーナ研究会、滋賀経済産業協会、京都工業会、奈良工業会、兵庫工業会、大阪科学技術センター

開催日 2008年11月14日(金) 9:45～17:30

会 場 大阪府商工会館7階第2講堂

大阪市中央区南本町4-3-6/電話 06-6271-0031

地下鉄御堂筋線・中央線・四つ橋線「本町」駅下車17号出口すぐ上

趣 旨

わが国で発展したモノ造りをベースにした技術経営は、米国が得意とする戦略論の面では弱いといわれております。そこで、日本機械学会関西支部では、事業の成果を生み出す鍵は、わが国独自の技術経営と戦略経営の融合であると考え、2006年11月から日本の経営の長所を加味した「日本式MOT」を考えるセミナーを開催しております。

今回、事業を取り巻くリスクに関する視野を広げるとともに、「企業法」や「コンプライアンス」を取り上げ、代表的な産業におけるリスクマネジメントの事例を中心に、戦略的技術経営の必要性を説明します。技術マネジャー、中堅・若手技術者・学生を含め、技術経営の構築・強化を模索されている企業の方々はもちろん、MOTを学んでいないの方々、或いは学んだものの具体事例に関心をお持ちの方々、さらに学生を指導する立場の大学の先生方にも有益な内容となっています。

講演の最後には、全講師と参加者による討論会を予定していますので、多数の方々のご参加を期待します。

キーワード

技術経営、リスクマネジメント、コンプライアンス、独禁法、情報セキュリティ、著作権

題目・講師

09.45～09.50 開会挨拶

日本機械学会関西支部 支部長 久保司郎
(大阪大学)

09.55～10.55 「情報漏えいと法的対応」

個人情報保護法の全面施行等を背景に、個人情報の大量漏えい事件が社会問題化している。その一方、技術ノウハウ等の営業秘密の漏えい事件も問題となっている。これらに対処して、適正に情報を管理するために、企業その他の団体として、どのような視点で、どのような措置を講じなければならないかについて、事例を中心に解説する。

弁護士法人 英知法律事務所 弁護士 岡村久道

11.00～12.00 「知的財産権と独禁法」

知的財産権と独禁法は、技術革新競争を促進するという目的において共通しているが、その目的を達成する方法・手段において異なり、相互に補完的な関係に立っており、具体的事件を通じてこの関係を明らかにする。

弁護士法人キャスト糸賀 特別顧問 弁護士 根岸 哲
(甲南大学法科大学院教授)

13.00～14.00 「企業法とコンプライアンス」

司法による問題解決機能が限定的で法令と社会の実態との間にしばしば乖離が生じる日本では、法令をそのまま「遵守」という姿勢は多くの弊害をもたらす。「社会の要請に適応すること」という観点からコンプライアンスの再構築を行う必要がある。

桐蔭横浜大学 コンプライアンス研究センター長 郷原信郎